

さくら市 議会だより



令和6年2月1日

No. **76**
2024年

ちよど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

《市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して》

第6回しおのん『ちやぐりん』フェスタ



子ども向け食育イベント「ちやぐりんフェスタ」

🎥 議会報告会動画を作成しました



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



マチイロ
マチを好きになるアプリ

栃木県のすべてがそろった「電子書籍」ポータルサイト「トチギーブックス」
TOCHIGI BOOKS



- ◆ 令和5年第4回定例会のあらまし ……2
- ◆ 各常任委員会(総務・文教厚生・建設経済) ……3~5
- ◆ 予算審査特別委員会 ……6~7
- ◆ 議会活性化特別委員会 ……8
- ◆ 能登半島地震復興支援 ……8~9
- ◆ 一般質問 ここが聞きたい ……10~17
- ◆ 議会のいろは ……18
- ◆ 議会レポート・議会の動き ……19
- ◆ 先進地に学ぶ ……20~22
(総務常任委員会・文教厚生常任委員会・建設経済常任委員会)
- ◆ どうなったんべあの質問は ……23
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定 ……24

総務常任委員会

◎大河原 千晶 ○吉田 雄次
落合 千枝子・永井 孝叔・渋井 康男・手塚 定

議案第6号 さくら市学校整備基金条例の一部改正

可決

【議案の概要】

令和2年度より学校のICT化に伴い、タブレット機器やソフトの導入がありました。しかし、現行の条例では、それらの更新のための費用に基金を活用することができないため、条例を改正するものです。当委員会では、付託になった議案の調査のため、市立の小学校(氏家小学校)を現地調査してきました。児童・生徒がどのように授業等で活用しているのか、また課題なども検証してきました。学校側の話を伺った際は、導入によりそれぞれの考えが可視化され、情報を共有する機会が増え、コミュニケーションが濃厚になったという話や、機器が重たく高額であることから、持ち帰りが毎日できないため、学校を離れた家庭でのルールの徹底などが課題となっている等の話が聞きました。

現地調査

- 氏家小学校(児童用タブレット使用状況等)
- 塩谷町役場(新庁舎視察)



氏家小学校



塩谷町役場



氏家小学校



塩谷町役場



氏家小学校



塩谷町役場

市営温泉料金改定

「第4回 定例会のあらまし」

令和5年第4回定例会が11月29日から12月14日まで開催され、令和5年度一般会計予算等の議案14件、諮問2件、追加議案10件を原案通り可決、同意しました。一般質問では、8名が市政について問いました。

上程された主な議案

令和5年度一般会計補正予算(第9号)

○住民税非課税世帯支援給付金事業(追加給付分)

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、「令和5年度住民税非課税世帯支援給付金」を1世帯あたり7万円給付するものなど。

2億6,823万4千円



さくら市温泉浴場条例の一部改正

光熱費等の高騰に伴い、市営温泉の利用料金の改定を行うもの。(改正は令和6年4月1日より)



さくら市総合交流ターミナル条例の一部改正

道の駅きつれがわにおける光熱費等の高騰に伴う市営温泉の利用料金の改定、区画テントサイト及びバーベキュー場を施設に加えるもの。

さくら市職員の給与に関する条例等の一部改正

国家公務員に順じ、給料表の改定、期末手当及び勤勉手当の支給割合の引き上げなど、所要の改正を行うもの。

さくら市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正 さくら市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の国家公務員の給与改定を考慮し、期末手当の支給割合を引き上げるため、所要の改正を行うもの。

さくら市人権擁護委員候補者の推薦

○小林 和弘 氏(氏家)

○八嶋 純子 氏(氏家)

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶定例会」



定例会QRコード

●会議結果・賛否の公表に
ついては市HPをご覧ください。

「さくら市ホームページ」
さくら市議会▶臨時会」



臨時会QRコード

文教厚生常任委員会

◎笹沼 昭司 ○鈴木 恒充
加藤 誠一・福田 克之・石岡 祐二・矢澤 功

審議付託案件はありませんでした。

放課後の児童の安全安心な居場所を確保するため、待機児童を解消する児童クラブを南小に作る必要が生じました。最近の小学校低学年の利用率の上昇により、南小においては特に収容人数を超える児童の申し込みがあります。令和6年度には放課後児童クラブの増設を予定していますので、現地を視察してその状況を見て来ました。



現地調査

- 真岡市役所市民課(書かない窓口)
- 南小学校学童保育施設(放課後児童クラブ3箇所)
- さくら市ミュージアム(「御所様、喜連川を治める」企画展)



南小学校学童保育施設



真岡市役所市民課



南小学校学童保育施設



真岡市役所市民課



さくら市ミュージアム



真岡市役所市民課

建設経済常任委員会

◎小堀 勇人 ○岡村 浩雅
高瀬 一徳・加藤 朋子・若見 孝信・角田 憲治

議案第1号 さくら市温泉浴場条例の一部改正

可決

Q 温泉施設の料金を設定するにあたり、喜連川温泉施設協議会などで、民間施設が温泉料金を値上げしたので、市営温泉も値上げしてほしい旨の話し合いはあったのか。

A 物価高騰に加え、協議会において市営温泉が非常に安価であることから、喜連川温泉のブランド力とイメージ向上のため市営温泉施設の値上げの要望があった。

議案第2号 さくら市総合交流ターミナル条例の一部改正

可決

Q 道の駅きつれがわの区画テントサイト及びバーベキュー場使用料の、具体的な料金が決定するタイミングはいつか。

A ゴールデンウィークや夏休み等、需要により使用料を変動させる方針で上限金額を設定した。指定管理者が予約サイトに料金を提示する前に決定するので、基本的には3ヵ月ぐらい前となる。



現地調査

- 上阿久津彫刻屋台
- もとゆ温泉
- 横町 御用堀
- 道の駅きつれがわ
- 下河戸地区内 蓮池(抜け土溜池)
- 内川 三ツ木堰及び松西堰
- 松田地区側溝未整備箇所



上阿久津彫刻屋台



横町 御用堀



道の駅きつれがわ バーベキュー場



下河戸地区内 蓮池(抜け土溜池)

予算審査特別委員会

開催 12月4日

◎若見 孝信 ○岡村 浩雅 他委員16名

議案第8号 令和5年度さくら市一般会計補正予算(第7号)

可決

Q さくら市給食センター整備事業における配送トラック購入事業費が、1台あたり1,000万円と高額な理由は。



A 荷台の給食を出し入れするためのゲートや空調といった学校給食配送に必要な設備が搭載されており、一般的な2tトラックより高額になる。



Q 新たな外来種「ツヤハダゴマダラカミキリ」の被害が下野新聞で報道された。今後、被害の拡大が予想されるので、市として注視していくことを望む。

A 現時点でさくら市での発生は報告されていない。生活環境課、農政課、都市整備課で連携し、対応していく。

○体長	雄成虫：20～29mm 雌成虫：22～35mm	
○体色	全体に光沢のある黒色で鞘翅に約20個の白色～黄斑がある	
○触角	12節で、3～12節には明瞭な白色の帯がある 雄は体長の2.5倍 雌は体長の1.3倍と長い	
○成虫は	5月～10月に出現	
○1年に	1世代で、卵・幼虫・蛹態で越冬	

在来種のゴマダラカミキリとの見分け方

【外来種ツヤハダゴマダラカミキリ】	【在来種ゴマダラカミキリ】
<ul style="list-style-type: none"> 『前胸背』：白紋を持たない 『上翅基部』：顆粒状突起を持たない 白紋を持たない 小楯板は白色軟毛に覆われない 	<ul style="list-style-type: none"> 『前胸背』：中央に2つの白紋を持つ（個体によって非常に薄い場合がある） 『上翅基部』：顆粒状突起を持つ 白紋を持つ 小楯板は白色軟毛に覆われる

林野庁 研究指導課



Q 道路舗装修繕の件数は。前年と比較しての増減は。

A 件数は年間77件。ここ3年は80件前後で横ばいとなっている。



Q 一般職の職員人件費が減額となっているが、その内容は。

A 人事異動によるものや、退職者及び育児休業者がいるため。



議案第9号 令和5年度氏家都市計画事業上阿久津土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

可決

議案第10号 令和5年度さくら市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

可決

議案第11号 令和5年度さくら市介護保険特別会計補正予算(第2号)

可決

Q 地域包括支援センター運営事業業務委託料を増額する理由は。

A 地域包括支援センターの運営確保のため、市からの委託料を増額する。

地域包括支援センターについて



議案第12号 令和5年度さくら市水道事業会計補正予算(第1号)

可決

議案第13号 令和5年度さくら市下水道事業会計補正予算(第1号)

可決



議会活性化特別委員会

開催 12月12日
◎岡村 浩雅 ○鈴木 恒充 他委員16名

市民の福祉の向上と責務達成のため議会活動の活性化に向けた調査研究をすとも、関係法令の検証及び見直しを行うため、令和元年第1回(3月)定例会において「議会活性化特別委員会の設置に関する決議」により設置されました。

議会活性化のために様々な課題について、調査・研究を進めています。

今回は、以下について検討しました。

- 補正予算の予算審査特別委員会の付託について
- 予算・決算常任委員会設置後の3常任委員会の役割整理等



石川県への行政視察履歴(平成27年度以降)

	年月日	視察先自治体	委員会名
1	平成30年6月28日	石川県金沢市	総務常任委員会
2	令和元年7月1日	石川県加賀市	議会運営委員会
3	令和元年11月20日	石川県輪島市	総務常任委員会
4	令和5年5月22日	石川県能美市	総務常任委員会
5	令和5年5月23日	石川県野々市市	文教厚生常任委員会
6	令和5年5月23日	石川県白山市	文教厚生常任委員会
7	令和5年5月24日	石川県羽咋市	総務常任委員会 文教厚生常任委員会



備考

- 石川県珠洲市
令和5年5月に総務常任委員会が視察をする予定でしたが、直前の地震発生で断念し、さくら市議会議員会から3万円を地震災害支援金として送りました。



一日も早い復興に向けて!

市議会はこれまで何度も県外視察で石川を訪れており、令和5年5月にも総務、文教厚生の2つの常任委員会が視察を受け入れて頂いたご縁から、発災直後の1月5日に議会と市が連名で救援物資を送りました。

栃木県トラック協会塩那支部との協定に基づき、榊高野商運の4tトラックに段ボール100箱程度を積み込み、石川県の物資集積拠点「産業展示館」に届けて頂きました。

内容はペットボトルの保存水2,400本、簡易トイレ3,000個、毛布420枚、防寒用アルミシート500枚、マスク19,200枚、ビニール手袋4,000枚等です。

さらに義援金として、議員全員が1万円、総額18万円を送りました。





小堀 勇人 議員
Hayato Kobori



YouTube

11 都市公園の整備
お丸山全山プロジェクトについて

▶ 都市公園部分・平地林の遊歩道整備と合わせて山頂部分の施設を核とした周遊性を確保していく

Q 遊具の設置要望が、多く寄せられているが。

A 1日も早い設置に向け努力していく。

Q スカイツーの今後については。

A 借地は取得に向け慎重に検討していく。ライトアップについては11月20日の試験の結果、可能性が見出せたので、今後は電源の確保をはじめ検証を進めていきたい。



ライトアップ試験の様子

Q プロジェクトの今後の方向性は。

A 桜並木の再整備、荒川堤防の整備、道の駅きつれがわ、市街地等の活性化に向けた事業と連動性をもたせるプロジェクトとして位置づけていく。

11 都市公園の整備
さくら市誕生20周年記念行事について

Q 計画と内容は。

A 令和7年3月29日に盛大な記念式典を予定しており、今後市制20周年記念実行委員会を組織し市の歴史と文化の顕彰を含め長く将来に資するような事業内容を検討していく。



さくら市誕生

3 子育て支援
少子化対策充実への取り組みは

Q 新年度予算における市独自の子育て世代への支援の考えは。

A 「産後ケア」サービス利用料の全額免除のため事業費の計上を予定している。また「不妊治療助成対象者」の拡充を行う。さらに県内でも取り組み事例の少ない「第2子以降の保育料免除」について現在検討中である。



永井 孝叔 議員
Takayoshi Nagai



YouTube

3 子育て支援
小児救急医療について

▶ 第二次・第三次医療機関等の更なる充実、支援、設置等を求める

Q 小児救急医療の現状及び課題をどのように捉え、どのような施策を展開するのか。

A 直近の1年間では、塩谷広域管内で救急搬送の要請は130%増となっている。また、医療懇談会等で本市医師団の意見を伺い、地域医療体制を維持するよう、できる限りの施策を講ずる。さらに国や県と意見交換を通じ、第二次・第三次医療機関等の更なる充実や設置等を求める。

Q 公的病院等支援事業の目的と事業内容は。

A 救急医療の公的役割を担う病院に対し、助成金を交付している。事業内容は、救急医療体制の運営支援。

Q 小児科医に特化した支援計画が必要なのは。

A 市独自の支援策を講じられるか医師団と意見交換、情報収集により支援できる体制を構築したい。



9 産業・経済振興
道路の舗装修繕について

Q ※道普請 道普請原材料費等支給要項を見直し、補助の拡充を図るべきでは。

A 現状に適合した見直しを行い、拡充を図るべく検討する。

Q 市道の補修計画の策定や補修効率化を図るため、※スマートフォンによる道路点検DXシステムを導入すべきでは。

A 導入に向け前向きに検討する。



Q 毎年道路補修修繕工事の必要予算は2億8,000万だが、財源確保の見込みは。

A 地方創生道整備推進交付金事業等、国の交付金事業を見込む。

※道普請
地域の方々が労力を提供し、身近な生活道路等の整備を行うこと。
※スマートフォンによる道路点検DX
スマートフォンで道路を撮影することで、路面のひび割れや段差などの損傷状態が点検できるシステム。点検後、スマートフォンからデータを送信してAIが解析することで、道路の点検・管理業務の効率化が期待できる。

その他の質問

◆ふるさと納税について